

地区スローガン：「ロータリーから千葉を元気に」  
会長方針：「温かいクラブ・活気のあるクラブ・調和のとれたクラブ」

## 国際ロータリー第2790地区 第3グループ

### 千葉西ロータリークラブ

Rotary Club of Chiba-West

## WEEKLY COMMUNICATION

創立 1976年1月20日 承認 1976年2月25日  
会長 野口アキ子 幹事 飯高喜代志  
例会場 千葉スカイウィンドウズ 東天紅 センシティタワー23階  
TEL 043-238-5555  
例会日 毎週火曜日 12:30～  
事務局 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階  
TEL 043-245-3202 FAX 043-245-7522  
E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp  
URL : <http://www.chibawest-rc.net/>

#### ■ 会長挨拶 / 野口アキ子 会長

この度、10月25日の台風21号によりわずか半日で1ヶ月の降水量が観測された豪雨災害土砂崩れ、住宅の浸水と広域的に被害が発生しました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

また、本日はご多用の中、足元の悪い中、国際ロータリー第2790地区ガバナー諸岡靖彦様、第3グループガバナー補佐鶴沢和弘様に公式訪問を頂きまして、会長といたしまして全会員を代表しましてお礼申し上げます。

ここで、諸岡靖彦ガバナーの横顔を会員の皆様にご紹介いたします。成田山参道にあります和菓子老舗の米屋さんの最高経営責任者であり、商工会議所をはじめ地域社会の団体でも数多く重責を担っています。米屋さんの初代経営者の祖父である諸岡長蔵様は常に謙虚な生き方を実践された方で、顧客や取引先を大事にされ、万人に公平で平等な気心を使い、地域社会に向け奉仕活動に貢献されてきた方と伺っています。

その素晴らしい家系を継承され事業と地域社会の発展に大きなご尽力を果たされています。私の知るところでは年末には福祉施設関係に千葉市を通じて羊羹、プリンの寄贈をされて貢献され、その活躍ぶりは私達ロータリアンとしても経営者のお手本になる方です。

ロータリー活動では地区研修部門でのご活躍が長く、大きな実績を残されています。会長エレクト研修ではロータリー歴は兄弟3人入ると100年とお話しされていたのがとても印象深く残っています。

それでは諸岡ガバナーの公式訪問に際し千葉西ロータリークラブの歴史を紹介させて頂きます。私が45代会長で過去からの事業を紐解くと様々な奉仕活動や親睦活動が継承されてきています。創設時から地区活動にもたくさんの方が地区委員会で活躍されています。併せて千葉港 RC、千葉東 RC、千葉若潮 RC の3クラブの拡大もされています。このように活躍されてきた先輩の皆様に敬意を表し、感謝を申し上げます。

歴史のある当クラブは継続事業も多く繰り返し行える長所もありますがその反面に高齢化率も高くなってきておりまして、委員会活動に参加できる方が年々減少してきていることもあります。このような状況の中、会員が平等に奉仕活動に参加できるか地域環境も含めて考えて行くことも必要であると考えます。また、時代の流れに沿った奉仕活動の検討や若いロータリアンの育成に力を注ぐ必要性も感じております。

また会員同士の絆を深める活動ではゴルフ同好会や野球同好会も積極的に行われ会員同士の付き合いも広く和気あいあいと活気のあるクラブでもあります。

戦略計画の一貫として、会長、幹事の予定者を中心として、定期的に会議が開催されて幅広く会員の意見を吸い上げられるクラブフォーラムを年間のプログラムに取り入れる等クラブ運営や活動のモチベーションを高め活気に満ちた例会にし、会員一人ひとりの存在感を目標に未来のビジョンを掲示して創立50周年に向けて会員増強も計画して参りたいと思います。

#### ■ 四つのテスト / 依田和孝 会員

「言行はこれに照らしてから」  
真実かどうか  
みんなに公平か  
好意と友情を深めるか  
みんなの為になるかどうか



#### ■ お客様

諸岡靖彦 様（国際ロータリー第2790地区ガバナー）  
鶴沢和弘 様（第3グループガバナー補佐）  
藤澤武彦 様（第3グループ次年度ガバナー補佐）  
今井 忠 様（東京臨海 RC）  
藤原高行 様（東京御苑 RC）  
奥山信行 様（成田 RC）  
八田羽根稔 様（成田 RC）  
櫻木英一郎 様（パストガバナー・千葉 RC）

#### ■ 米山功労者の表彰

山本康昭 会員 第46回メジャードナー  
花澤誠一郎 会員 第3回マルチプル



## ■ 幹事報告

## ・ 2020 - 21 年度地区委員の推薦

ガバナーエレクトより次年度地区委員のクラブ推薦依頼が届いております。  
自薦される方は、幹事へお申し出ください。

## ・ 国際ロータリー第 2790 地区「地区大会」開催のご案内

2020 年 2 月 9 日（日）9：30 アパホテル&リゾート東京ベイ幕張ホール  
2 月 18 日（火）の例会変更です。ご登録をよろしくお願いします。



## ■ 委員会報告

## ・ 社会奉仕委員会

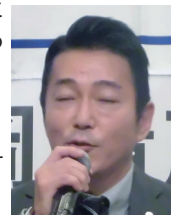
友田委員長の代理で報告します。11月9日（土）8：30 より稲毛駅前の花壇植え替えを行います。  
今回はロータリー財団の補助金を活用して行う関係で、ポリオ撲滅推進のチラシ 200 枚を配布し、  
ロータリー活動広報のためのノボリを掲げます。皆様のご協力をよろしくお願いします。

## ・ 会員増強委員会

11月12日（火）18：00 より、東天紅にて会員増強オープン例会を開催します。ゲストがまだ  
まだ足りませんので今後入会の可能性がある方をお誘いして、是非ご参加頂きたいと覆います。よろ  
しくお願いします。

## ・ 野球同好会

10月26日（土）宮野木球場で対松戸東 RC 戦を行いました。12-2 で残念ながら敗戦致しました。  
私はバットが空を切り、かすりもせずに関わりました。私がスタメンで出されると足を引っ張ります  
ので、先週の皆様のご参加を是非お待ちしております。よろしくお願いします。



## ■ ゲストスピーカー 国際ロータリー第 2790 地区 諸岡靖彦ガバナー

## 「国際ロータリーの現在とこれから」

本年度当地区ガバナーを務めます 諸岡 靖彦（成田ロータリークラブ）です。本日は国際ロー  
タリーの現況と、来年 10 月に 100 周年を迎えます日本のロータリーの実情についてご報告す  
る同時に、私のロータリーに対する考え方を中心にお話しさせていただきます。

ロータリークラブ（RC）は、その会員であるロータリアンによって構成され、一方、国際ロー  
タリー（RI）は、RC によって構成されます。ロータリーの創設者 P.Harris(1868～1947)  
は資本主義社会の勃興期の、商業道徳が忘れられてしまった 1905 年に、米国シカゴの街に信  
頼と友情の仲間を増やしたいという趣旨で RC を創りました。親睦と相互扶助が初期の目的で  
したが、奉仕という目的を加えることによって全米に拡がり、国境を超え、今では 200 以上の国  
と地域に、クラブ数 3 万 6 千、会員 120 万人を数える世界有数の奉仕目的団体となりました。  
こうした世界中のクラブの連合体を RI と称しています。ロータリーは職業倫理を重んずる実業人、専  
門職業人の集まりで、世界に目を開いて幅広い奉仕活動を国際社会に、地域社会に展開しています。

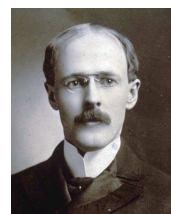
このようにロータリーは奉仕という基本目標の下に、世界中に会員基盤を有し、クラブを、地域を、  
世界をリードしています。ロータリーの活動を確固たるものにしてゆくためには、一人一人のロータ  
リアンがロータリーを熟知して、私たちが所属するクラブをより効果的なクラブに成長させることが  
大切です。クラブを構成する一人一人のロータリアンがリーダーシップを身につけ、会員組織を強く  
して、社会が必要とする奉仕活動を継続させてゆくことがロータリー活動の課題です。

本年度 RI の Mark D. Maloney 会長は、ここ 20 年間の会員総数が 120 万人のレベルで推移し  
ていることを停滞と断じました。情報化と交通手段の格段の進展がグローバル化を進め、世界の動き  
がより早く、狭くなっています。他方で地域紛争が長く尾を引き、経済や通商分野には対立と分断が  
進み、世界中がバランス感覚を失っています。「あと少し」に迫ったポリオ根絶にも、時間と金はまだ  
掛かりそうです。マローニー会長は、かつてないほど分断化された世界に繋がりを取り戻すことが  
できるのはロータリーであると断言します。ロータリーはより健康的で、平和で、持続可能な世界に向  
けた国連とのパートナーを有し、他の組織には見られない平和と相互理解という精神の下に世界中の人々  
が繋がることが出来、目標に向かって意義ある行動を起こすことの出来る力を有しています。今こ  
そロータリーの出番です。ロータリーの組織としての勢いを回復させ、地域社会や家庭、職域に新しいつながりを創り、  
世界をつなぐことがロータリーの使命です。こうした背景から、マローニー会長は『ロータリーは世界をつなぐ』  
ROTARY CONNECTS THE WORLD のテーマを打ち出されました。

私はマローニー会長のテーマを受けて、「ロータリーから千葉を元気に」のスローガンを掲げました。千葉を元気に  
するためには地区内クラブが元気にならなければなりません。私の使命はクラブを鼓舞し、クラブを元気にすることです。  
地区組織の総力を挙げて、クラブを元気にします。

さて、ご参集のロータリアンの皆様に投げかけてみたい話題があります。皆様ご自身にとってロータリーの魅力とは  
何でしょう、ロータリーを続けている理由は何だと思えるのでしょうか？来年 10 月に日本にロータリーが生ま  
れて 100 周年を迎えます。「日本のロータリー 100 周年実行委員会」が昨年全国の RC に対して意識調査を行  
いました。この中に日本人ロータリアンの意識を探ることができます。（この詳細は「ロータリーの友」2017 年 11 月  
号に掲載）

上位 6 番目までの理由を拾ってみますと ①異業種交流ができる ②生涯の友人・仲間ができる ③自己研さんと  
学習・成長の機会 ④例会が楽しい ⑤奉仕活動ができる ⑥心からの親睦が得られる… となっています。奉仕活  
動への期待よりも、他人との関わりを大切にしている、という結果でした。皆様の場合はいかがでしょうか？



私の考え方ですが、「出会いの妙」、それがロータリーの魅力の第一です。2010 - 11 年度にクラブ会長を務め、その後地区へ出るようになってから、殊に多様な地区ロータリアンとの交流が楽しみになりました。GND、GN、GE と年々立場がガバナーに近づくにつれて、シニア・リーダーといわれる方々や PDG と接する機会が増えて、様々な人間像、彼らの奉仕活動の体験談、立ち居振舞い、リーダーシップのあり方を垣間見てきました。ロータリアンは対等です。ロータリーの会合では、公式、非公式に関わらず対面すればどんな著名な方とでも対等なお付き合い、お話を交わすことができます。「ロータリーに No! は無い」とよく言いますが、回ってきた役目はお受けするのが良いと思います。ロータリーを学び、自分の世界を広げるチャンスだと思うべきです。苦手な分野であっても、ポジティブに受け取るべきです。不安な気持ちが準備を進め、問題意識を高めます。例会や奉仕活動では、意識して年代の違う会員、職業分類の全く違う会員との交流が視野を広げ、感性を刺激します。RI の青少年プログラムは年齢層によって設定が変わりますが、IAC、青少年交換、RYLA、RAC に参加しますと、ロータリーファミリーの幅の広さと若い力に教えられます。ものの見方、考え方そして何よりもロータリー観が養われます。このほかにもロータリーの世界的ネットワークの凄さ、R 財団や米山奨学会の資金力は奉仕活動にとって、大きな原動力であり、その事業に惚れこめば健全で素直な寄付協力に近づけると思います。

ロータリーの全体像を絵にして表現すると、どんなことになるでしょうか！『ロータリーの樹』をご覧ください。青木貞雄ガバナー年度の 2016 年の地区大会に RI 会長代理で当地区に派遣された渡辺好政 PDG が RI 理事をお務めの 2006 - 07 年度の頃に持論を展開したというのがこの図表です。樹を育て、森を創る発想は日本人の自然観によく嵌ります。森を征服して街を切り拓くという西欧人の感性との差が見て取れます。土壌（中核的価値観）があって、根（R の理念）があるから幹（R の目的）は育ち、幹を太らせれば枝葉（五大奉仕活動や 6 つの重点分野）が広がり、陽光を浴びて果実（R 財団）が実り、全体景観としての R の公共イメージが向上する…というものです。

この『R の樹』から様々なインスピレーションが生まれます。ロータリアンは「個」からスタートして自学（楽）自習して、個のリーダーシップを養います。樹を大きく育ててゆくには高潔性という土壌が特に大切です。ロータリーがロータリーであるためには、職業倫理に従って得た経済力が個人の奉仕活動の原動力になるからです。「クラブ」が地域社会に働きかける要件として、クラブが元気でなければ地域に対して健全な提案やリーダーシップが発揮できません。会員基盤を多様化させて、クラブを持続的に盛り上げてゆくことが大切です。クラブの活動計画は奉仕活動も親睦も絆を創るための相互の存在と役割を認め合って、縦割りの活動だけではなく、上位の目的を共有し合うヨ横割りのクロスプロモーションを意識して動かなければなりません。この樹を持続的に、いかに強く育てるかは、戦略計画の課題です。樹を育て、森を如何に創ってゆくかはクラブ会員全体の総意に関わります。全会員の討議で森を創るビジョンを構想してください。ビジョンができれば毎月の、毎年の作業計画を創って、実行してください。半月後、1 年後の実行チェックは欠かすことのできない、次のステップに向かう大事な振り返りです。こうして樹が育てばロータリーの活動はますます意義深くなり、楽しくなることでしょう。

ところで、世界のロータリーと日本のロータリーにはギャップが生じている、ということをお聞きになっていませんか？日本のロータリアンが重視する職業奉仕（実は、日本人ロータリアンがこだわっているのは職業「倫理」のようです）は、世界中の何処へ行っても通じないというのです。職業奉仕とは職業上持ち得た専門知識や技能を生かして社会奉仕に貢献することだと、世界は考えているようです。職業奉仕を特別なロータリーを動かす土台としては考えていないのです。先の規定審議会で RAC を RI の会員として認める件や、例会の欠席補填（メイクアップ）を当年度以内とする緩和決定には驚きました。しかしこの狭い日本列島で 2000 年もの永い間、自然神信仰（神道）、仏教、儒教を自生的に「餅をこねるように」創り、武士道や商人道に形成し、実践してきた日本人の思想の風土を考えれば、職業奉仕の重視というスタンスは軽率なポピュリズムよりは遥かに重いものです。日本のロータリーがガラパゴスとか、周回遅れで走っているという評価はいただけるものではありません。来年に迫った日本のロータリー 100 周年では、ロータリーという米国建国期ピューリタンの思想潮流を、日本人の風土、文化になじむよう取り入れてきた社会運動として正しく評価されるべきものだと思います。如何でしょうか。

さて、これからのロータリーの方角はどうなるのでしょうか？5 月から日本の元号が「令和」と改元されました。明治以降の大正、昭和、平成の 150 年はおおよそ 30 年ごとに登り坂と降り坂を交互に経験してきました。平成の 30 年間の日本は、バブルの崩壊以後世界同時不況、大震災や自然災害がつづいて、降り坂の 30 年でした。外に目を向ける産業分野もありましたが、大多数の内向きな日本人は「井の中の蛙」と化しました。政府は内需を高めるために躍起になって財政出動しますが、国の借金が膨らむだけでした。人件費の上昇以上には生産性が目立って改善するわけではなく、低成長（時にはマイナス成長）がつづいています。

令和の時代には、もっと大らかに、日本人が持つ相手に心を寄せる優しさが発揮される時代になって欲しいと思います。そして日本人がもっと国際社会に出て、世界に貢献でき期待したいと思います。そのためには、ロータリーと同じように、日本人は明確な国家戦略をもつことが必要です。先ごろ経済同友会が発表した『危機感なき茹でガエル日本——過去の延長線上に未来はない——』の、日本再生の処方箋をご紹介します。三次元の図表で表わせば、X 軸＝経済の豊かさの実現、Y 軸＝イノベーションによる未来の開拓、Z 軸＝社会の持続可能性の確保、という社会の、近視眼ではない 30 年、50 年後を見通した構想を基本として、そこに到る道筋を考えなければならない、ということです。令和の時代を、「敗北と挫折」の平成の 30 年の延長と思うのではなく、危機感を持って、日本人の繊細な感性を生かせる健康長寿、地球環境、持続可能性を構築する分野などで世界のトップを目指すべきです。

1 月のサンディエゴの RI 国際協議会で、GE として GETS に参加したとき、会場の入り口に掲げられていた標語は Join Leaders ,Exchange Ideas ,Take Action! … 「リーダーを集め、意見を交換し、行動に移せ!」でした。かつてのそれは、Enter to Learn ,Go Forth to Serve! … 「入って学び、出でて奉仕せよ」でした。標語が変わったことの意味する所は、RI が戦略計画を構築するための姿勢を示しているものであると理解します。リーダーを集めて、意見を交換して、そして行動する、ということです。これが RI のこれからの行き方です。

以上で「RI の現在とこれから」というお話を終わらせていただきます。

ご清聴、ありがとうございました。



# ク ラ ブ 協 議 会



## ニコニコ BOX

- ・今井忠 様（東京臨海 RC）…東京から参りました。諸岡ガバナーの公式訪問を見学に来ました。お世話になります。
- ・藤原高行 様（東京御苑 RC）…本日は勉強をさせていただきます。何卒宜しくお願い致します。
- ・新井…お見舞いをありがとうございました。
- ・山本…先日の雨、車が水没しそうになり、ビックリ！
- ・吉野…父の樹バザーに皆様から重ねて品物を頂きありがとうございました。  
ガーデンセブンの件ではご心配頂いて、これも大変ありがとうございました。
- ・海寶…諸岡ガバナー、鶴沢ガバナー補佐、藤澤次年度ガバナー補佐、今井様、藤原様のご来会、大歓迎致します。
- ・宮川…諸岡ガバナー、本日はありがとうございました。
- ・大森…諸岡ガバナー、鶴沢ガバナー補佐本日は宜しくご指導、お願いします。
- ・川島治代…諸岡ガバナー、鶴沢ガバナー補佐、ご来会ありがとうございました。
- ・花光…11月9日（土）稲毛駅前花壇の植え替えにご協力をお願いします。
- ・野口アキ子…諸岡ガバナー、鶴沢ガバナー補佐、藤澤次年度ガバナー補佐様、今井様、藤原様、  
本日はご来会ありがとうございました。
- ・白井…炉辺会談へ多くのご参加をありがとうございました。
- ・川城…一日も早い復興を祈ります！
- ・北村…寒くなりましたね。健康管理気をつけましょう。
- ・遠藤あけみ…米山カウンセラーとして研修旅行に参加させて頂きました。ありがとうございます。

|       |        |       |      |     |         |             |           |              |                                                                    |
|-------|--------|-------|------|-----|---------|-------------|-----------|--------------|--------------------------------------------------------------------|
| 本日の出席 | 総 数    | 対 象 者 | 出 席  | 欠 席 | 出席率     | ニコニコ<br>BOX | 合 計       | 次週<br>のプログラム | 11月5日（火）<br>クラブフォーラム<br>ロータリー財団委員会主催<br>12:30点鐘<br>千葉スカイウィンドウズ 東天紅 |
|       | 53 名   | 46 名  | 36 名 | 8 名 | 84.78 % |             | 45,000 円  |              |                                                                    |
| 前々回修正 | メーキャップ |       |      | 欠 席 | 出席率     |             | 累 計       |              |                                                                    |
|       | 1 名    |       |      | 6 名 | 87.23 % |             | 608,000 円 |              |                                                                    |
|       |        |       |      |     |         |             |           |              |                                                                    |

|                       |            |             |      |            |       |       |       |
|-----------------------|------------|-------------|------|------------|-------|-------|-------|
| クラブ広報・IT・ロータリー情報雑誌委員会 | 【委員長】 白井貴博 | 【副委員長】 平良真人 | 三宅隆文 | 【委員】 *野城隆憲 | *前野拓郎 | *菊池民雄 | *前田善弘 |
|-----------------------|------------|-------------|------|------------|-------|-------|-------|

11月5日（火）  
クラブフォーラム  
ロータリー財団委員会主催  
12:30点鐘  
千葉スカイウインドウズ 東天紅